

道徳通信

「旗」

愛西市立八開中学校
令和3年12月15日
青ブロック職員

「思いやりの心について、考えを深めよう」～道徳「旗」を通して考えました～

転校後まもなく交通事故に遭い、自宅療養中の少女は、新しい学校の友達にもなじみがなく、窓から見えるレモン色の旗を友達のように思っていました。ある日、一人のクラスメートがクラス旗を作るための布きれをもらいに少女の家を訪れ、少女は、寂しさを紛らわすために旗ばかり見ていることを打ち明けます。彼女は何かを考えていたようですが、何も無いまま数日が過ぎました。クラスメートに寂しい心を打ち明けたことを悔やんだ少女ですが、登校する前日に、いつものレモン色の旗のある場所にクラス旗を発見します。しかも、真ん中には少女が渡した布が縫い付けてありました。翌日、登校した少女を温かく迎えてくれたクラスメートの思いやりの心を知り、少女は「この町に引っ越してきてよかった」と心から思うのでした。

授業では、クラスメートと少女の気持ちについて考え、今後の学校生活で自分が実行したい「思いやりの行動」や大切にしたい「思いやりのあり方」について考えました。

●● ●●くん

本当の思いやりとは、相手のことを考えて行動することだと思った。

●● ●●くん

さりげなく相手に気づかれないようなちょっとしたことをやってあげる。
相手が喜ぶようなことをやってあげる。この二つが思いやりの行動だと思った。

●● ●●くん

物を拾ってあげた。勉強を教えた。など物理的なことではなく、相手が今どんな気持ちなのかを考えて接することが本当の思いやりだと思うので、これからは親切にすることもそうだし、気持ちを考えて接するようにしたいと思う。

●● ●●さん

落ちていたものを拾ったり、「頑張って！」などの応援をしたりするなどでも、思いやりだと思う。また、友達が試合で負けてしまった時、自分のことのように泣いたり、喜んだり出来ることも相手のことを思ってなければ出来ないことだから思いやりの一つだと思った。

●● ●●さん

これからは、相手の立場に考えて、どうしたら喜んでもらえるとか、嬉しく思ってもらえるとか、そういうことを考えて行動したいと思った。それが、思いやりの行動なのではないかと思った。思いやりの行動をしたら、相手は嬉しいし、自分も行動して良かったと思えるので、思いやる行動を沢山していきたい。

●● ●●さん

「旗」のようにサプライズで少女を喜ばせるのもいいと思うけど、私は周りのことを見てしっかりコミュニケーションをとっていくのが思いやりにつながるのではないかと思った。

●● ●●さん

これからは、初対面の人や、あまり話したことのない人などに話しかけて自分と相手の思いやりを作っていくと思いました。そして、思いやりの行動や、おもいやりの仕方を考えて、みんなと接していきたいと思いました。

●● ●●くん

ただ思うんじゃなくてその人を思い、行動することが思いやりと感じた。また自分自身思いやりの行動をしようとして行動してないので、これからは今まで通りに過ごすのプラス、より人を考えるように過ごしたい。

